

氏名	田村佳士枝	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	小児看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	1987年聖路加看護大学看護学科 2003年聖路加看護大学修士課程				
経歴	1993年千葉県立衛生短期大学講師、2003年聖路加看護大学助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年同大学准教授				
所属学会(役職)	日本小児看護学会、日本看護科学学会、日本小児保健学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	小児看護技術第3版	共著	あり	メヂカルフレンド社、422ページ	編者：添田啓子、鈴木千衣、三宅玉恵、田村佳士枝	2022.12月	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会科研費基盤研究(c)			骨延長術を受ける子どもの意思決定および術後の取り組み関わる親の認識	研究代表者：田村佳士枝	2020年度～2022年度	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	小児看護学Ⅱ		2コマ	2年次を対象に「手術を受ける子どもと家族の看護」2コマを担当した。小児専門病院看護師長の方をゲストスピーカーとして、近年の周手術期看護の特徴を講義いただいた。授業後の課題を提示し、知識の定着を促進した。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	小児看護学Ⅲ	○	15コマ	小児事例の看護過程を学習するPBLテュートリアル科目で、科目責任者として全体の運営および3グループを担当した。オンラインでのPBLとなったが、課題検討が進むようにファシリテートを行い、最終発表会でも意見交換が進むように支援を行った。			
2	小児看護学Ⅳ		15コマ	小児看護技術の修得を目的とした授業であり、学内実習ではおむつ交換と内服を担当し、事例に即した看護技術の理解および習得を支援した。また、後半は自己練習期間の指導および技術テストにて振り返りと技術修得を促進した。			
3	子どもと家族のヘルスプロモーション		8コマ	4年次生を対象にヘルスプロモーションを検討できる事例として、訪問看護ステーションの看護師の方と調整し準備を行った。インタビューおよびまとめの指導を行った。			
4	IPW演習		8コマ(2開講)	全学科3年生を対象に、各学科学生で構成するグループを担当し、コロナ感染によるチームの課題および対応策について討議を推進した。チーム形成およびコロナに関わる課題について、まとめ発表会を実施した。			

5	卒業研究拡大ゼミ		8コマ	小児看護学領域の卒研担当学生と教員が参加してオンラインで開催した。研究の進捗状況に沿って、研究テーマ・目的・結果を2回に渡って開催し、共有の場として活用した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	小児看護学実習		学外実習：8週間	3年生20名を4クール8週間にわたり担当した。学生一人当たり2日間の臨地実習および6日間の遠隔実習にて事例展開を実施した。事例展開では、具体的な支援方法の検討のため、参考文献などの提示や資料収集方法の支援を実施した。
2	IPW実習		学内実習：15コマ	各学科4年生6名を担当し、オンライン実習を行った。施設との調整担当を担い、実習進行の確認・調整を実施した。さらに、対象者と遠隔での対話の機会や教育機関とも調整しインタビューへの協力を得て実施した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022,4~2023.1	主指導 4名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	2023年度IPW演習の運営計画・準備の推進	2022,4~2023.3	次年度に科目責任者を担当するため、授業運営について、現科目責任者と協議し、次年度の授業に向けて検討・準備を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	公開講座 看護研究セミナー	看護学科教員	県内施設で勤務されている看護師の研究活動を支援することを目的に、4回のミニ講義と参加者の研究を題材としたグループ討議を実施した。	2022.6~2022.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	進学ダイアリー	取材企画「先生に聞きました」のアンケート項目の執筆を担当した。		2023.3
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会員担当 入試実施部会員として、オープンキャンパスにおいては小規模開催も含めて、5回計画・実施を推進した。また、大学案内等広報に関する業務の企画検討・学科内および協力学生の調整を推進した。高校訪問および高校の先生方への説明会では、学科教員の協力を得て、多くの面談要望への対応を行った。入試日程担当教員の配置、調整を行い、円滑に実施できるよう推進した。		2022.4~2023.3
2	学生支援	県立病院自己推薦者の個別面接練習の計画・実施 自己推薦希望者へ面接練習会後の個別面接練習および指導を実施した。		2023.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			

7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		